

地域再生計画(港整備交付金事業)の事後評価

|       |               |        |               |         |                    |
|-------|---------------|--------|---------------|---------|--------------------|
| 都道府県名 | 愛媛県           | 事業実施主体 | 八幡浜市          | 地域再生計画名 | 八幡浜市「みなとまち八幡浜」再生計画 |
| 計画期間  | 平成17年度～平成23年度 | 事業期間   | 平成17年度～平成21年度 |         |                    |

| ①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況        | 指標  |                                 | 基準値                                       |   | 目標値   |     | 実績値          |      | 達成状況に関する評価  |
|------------------------------|---|---------------------------------|---|---|---|-----|--------------|------|---|
|                              | 指標1   | 指標2                             | 人   | 基準年度  | 人   | 年度  | 人            | 基準年度 |   |
| ①地域再生計画に記載した数値目標の達成状況        | 指標1   | 八幡浜港の船舶乗降客数                     | 494,627                                   | H16   | 500,000   | H23 | 432,817      | H25  | 整備着手後に、リーマンショック、原油価格の高騰、高速道路休日区間割引などの外的要因により乗客数が減少したため、目標を達成することができなかった。    |
|                              | 指標2   | 大島漁港における漁港施設整備による漁業作業時間の短縮      | 時間<br>9,333                               | H16   | 時間<br>6,222   | H23 | 時間<br>6,222  | H25  | ○ 漁業作業時間が短縮され、目標を達成できた。   |
|                              | 指標3   | 八幡浜港のフェリー搬送車両台数                 | 台<br>333,102                              | H16   | 台<br>340,000  | H23 | 台<br>328,124 | H25  | 整備着手後に、リーマンショック、原油価格の高騰、高速道路休日区間割引などの外的要因により搬送車両台数が減少したため、目標を達成することができなかった。 |
| ②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の発現状況 | 指標1   | 八幡浜港交流人口の増加                     | 人<br>0                                    | H16   | -   | -   | 人/年<br>120万  | H25  | ○ 港に整備した集客施設のオープンにより、八幡浜港の交流人口が増加した。  |
| ③事業の進捗状況                     | 事業名   |                                 | 整備量<br>(その他の事業では取組み内容)                    |   | 目標の達成に対する評価及び今後の対応  |     |              |      |   |
| 特別措置を適用して行う事業                | 港湾整備事業  |                                 | 計画  | 実績  | 緑地等の賑わい溢れる交流空間の創出、離島航路及び生活物資運搬貨物船の発着施設の整備、フェリー接岸や乗降の安全性、機能性向上等の整備を図った結果、地域交流拠点施設のオープン以降、八幡浜港への交流人口は大幅に増加している。今後もイベント等の積極的な開催により、フェリー乗降客、港湾・市場関係者・交流拠点施設来訪者等の交流の場として、魅力あるみなとまちづくりに取り組んでいきたい。 |     |              |      |   |
|                              | 緑地(用地)  |                                 | 1,100㎡<br>護岸L=100m、埋立A=7,000㎡<br>A=7,858㎡ | 1,100㎡<br>護岸L=100m、埋立A=7,000㎡<br>A=7,858㎡   |   |     |              |      |   |
| その他の事業                       | 漁港施設  |                                 | L=41.2m<br>L=36.0m<br>埋立A=676m3           | L=41.2m<br>L=36.0m<br>埋立A=676m3   | 物揚場、漁港施設用地の整備によって、安全かつ効率的に漁業活動を行うことができるようになった。今後は、豊かな自然環境をいかして、八幡浜港から大島に来訪者を導くとともに地域の活性化と島民の生活安定を図っていきたい。   |     |              |      |   |
|                              | 八幡浜漁港特定漁港漁場整備事業   |                                 | 八幡浜漁港魚市場のリニューアル                           |   | 老朽化した旧魚市場施設を解体し施設前面の海面を埋立てて、高度衛生管理型の荷捌所を有する魚市場を新たに整備したことで、水産業と観光の振興及び地域活性化につながっている。   |     |              |      |   |
| 農山漁村活性化P交付金事業                |   | 海産物直売所、市場見学施設<br>大島行船乗場連絡通路、加工場 |   | 隣接する魚市場で水揚げされた新鮮な魚介類を販売する海産物直売所や魚市場施設の見学客のほか、大島行船付き場への連絡通路を整備したことで、交流拠点施設の来訪者も含めた多様な観光客の集客につながっている。 |   |     |              |      |   |
| 地域交流拠点施設整備運営事業               |   | 観光案内・まちづくり活動拠点施設他               |   | 港町八幡浜を再生するため、観光案内所や産直・物販・飲食施設、全国公募によるデザインのトイレ棟や緑地などで構成される地域交流拠点施設を整備したことで、港に賑わい溢れる空間が生まれた。          |   |     |              |      |   |
| 天然記念物活用事業                    |   | 案内板の設置、遊歩道の確保                   |   | 国の天然記念物に指定されている「大島シュードタキライト」及び「変成岩類」を効果的に活用するため、観光案内板の設置と遊歩道を整備した。                                  |   |     |              |      |   |
| 街並み交流拠点事業                    |   | 旧保内町地域の観光資源の活用                  |   | 地域交流拠点施設への来場者に対して、旧白石和太郎洋館など歴史的建造物や明治の町並みが残る旧保内町地域の観光スポットを積極的にPRしたことで、同地域の観光客増加と新たな周遊観光の創出につながった。   |   |     |              |      |   |
| ④計画全体の総合評価                   | <p>・漁港施設の整備については、計画どおりに実施できたことで大島地区における漁業者の就労環境等が大幅に改善された。また、港湾施設の整備については、社会情勢の変化が指標に大きく影響し、船舶乗客数及び搬送台数の目標を達成することができなかった。しかし、今回の港湾施設整備と併せて施設背後地に整備された、みなとオアシス・道の駅「八幡浜みなと」と高度衛生管理型荷捌所を有する魚市場がオープンしたことで、八幡浜港における交流人口は大幅に増加している。また、離島の大島(真穴)漁港については、高齢化と人口減少がさらに進んでいるものの、船舶乗降客数は横ばいで推移しており、安定した状況にある。現在のところ、八幡浜港を拠点として多くの来訪者で賑わっているが、今後は、リピーターを確保しながら、いかに賑わいを継続させていくかが課題であり、波及効果によるフェリー乗降客の増加を図るとともに、港から中心市街地へ賑わい効果を拡大することで、より一層の地域活性化につなげていきたい。</p> |                                 |   |   |   |     |              |      |   |